

常任委員会の動き

総務委員会

委員会に付託された案件は、議案が九件でした。

一般会計決算の審査では財産管理費において、エレベーター等保守点検委託料が、十六年度においては百二十八万円であったが、十七年度は六百万円と大幅な増額になっているのはなぜか、との質疑に対して、羽生駅舎のエレベーター



審査結果を報告する
丑久保委員長

ター等の保守点検が十七年度から新たに追加になったためである、との答弁がありました。

また、徴税費において、納税貯蓄組合への補助金が減少しているが、将来的には無くしていくのか、との質疑に対して、納税貯蓄組合の役割は非常に大きいと認識している

事務事業の見直しで検討したい、との答弁がありました。これらの審査の結果、付託議案九件はいずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

文教民生委員会

委員会に付託された案件は、議案が十二件でした。

国民健康保険特別会計補正予算の審査では、葬祭費が二万円減額になるが理由を伺いたい、との質疑に対して、葬祭費の減額は、法改正によるものであり、県内五十一市町村のほか、他の被用者保険も減額を予定している。保険者間の給付の平準化を図るものである、との答弁がありました。

た。

また、重度心身障害者医療費の支給に関する条例の改正条例の審査では、施設入所者に対する軽減措置を考えているか、との質疑に対し、応能から応益の考えにより負担は増えることになる。今後、三



審査結果を報告する
中島委員長

市三町で組織する運営委員会で十分検討したい、との答弁がありました。

これらの審査の結果、付託議案十二件は、いずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。

産業建設委員会

委員会に付託された案件は、議案が八件でした。

一般会計決算の審査では、市民プラザ費において、プラ

ザの今後の利用形態をどのようか考えているか、との質疑に対し、本年度、市民プラザ有効利用検討プロジェクトを立ち上げた。今後、貸出しの見直しや市の機能の一部移転など検討したい、との答弁がありました。

また、羽生市道の駅条例の審査では、道の駅は指定管理者が運営をするのか、テナン



審査結果を報告する
松本委員長

ト募集をして部分貸しするのか、との質疑に対して、「道の駅はにゅう」全体を指定管理者に管理させる考えであるため、飲食施設、物品販売ができる団体を選定したいと考える、との答弁がありました。委員会ではこれらの審査の結果、付託議案八件はいずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決しました。



次の議会は、十二月定例市議会十二月七日頃開かれる予定です。

会議は、午前十時から開かれます。議案質疑や一般質問など活発な議論が展開されます。ぜひ、傍聴にお出かけください。なお、傍聴される方は携帯電話の電源をお切りくださるようお願いいたします。

議会だより編集委員会

- 委員長 渡辺 勝司
- 副委員長 齋藤 隆
- 委員 丑久保 恒行
- 委員 中島 資二
- 委員 松本 敏夫

ご意見などを

編集部まで

〒048(561)1121

(内線)512

